



No.68  
 2025.3.14  
 発行；特定非営利活動法人  
 所沢市学童クラブの会  
 広報委員会  
 所沢市くすのき台2-20-6  
 Tel；04-2994-6753

# 設立25周年記念式典 ~始まり、今、そして未来へ~



所沢で学童保育に携わり五十二年、NPO法人化して二十五年、これまで沢山の支援をいただいた感謝を込めて、また、これからも応援していただける期待を込めて、NPO法人所沢市学童クラブの会「設立二十五周年記念式典」を開催しました。

会場は所沢のエステート白馬の五階ホール。参加総数七十五名。会場のあちらこちらで懐かしい方々はじめ参加された皆さんが旧交を温めているお姿を拝見し、人の繋がりの確かさや絆を感じた一日でした。

式典は二部構成で行いました。第一部はこれまでのあゆみ。学童保育黎明期から現在に至るまでをまとめ、更に歴代会長お三方からも当時の話や今思うこと等を頂戴しました。初代会



長久保さんは、市内の学童保育をどう発展させてきたのか、黎明期のご苦労等、当時の保護者と指導員が一緒に討議し活動してきた様子を篤くお話し下さいました。なぜNPO法人化に取り組んだのか？学童保育事業を永続的に継続、発展させていくためにどうするか、何が必要かなど等、当時事務局専従だった故春口類さんと共に日々奮闘されてきたことを話してくれました。



外部だけでなく内部に対してどう説明責任を果たしていくのかという課題等に向き合ってきた事、解決策を話し合ってきた事等を話してくれました。

光本さんは、今の思いとして、関わった時間や深さにはそれぞれ違いはあるとしても、ここにいる全員が関わってくださったことで今日がある。みんなで作上げた二十五周年記念式典。この積み重なりがこれから三十年五十年百年と続くように応援していきましようとお力強く語りかけてくれました。





第二部はリラックスした雰囲気を大事に、歓談タイム。飲食をいただきながら懐かしい人達とクラブ毎、地域毎の思い出話や近況報告等がテーブル毎にされていました。

また会場内の人々からも一言コメントを頂戴しました。当時子どもとして学童に来ていた参加者の「自分の子どもが小学生になったら、是非学童にお世話になります」という言葉に、元気をもらいました。

懐かしい思い出話そして未来への展望など、沢山の方から暖かなコメントをいただきました。

和やかで温かな雰囲気のまま



ま式典は幕を閉じました。当日飲食をケータリングしました。その会社の方も当法人の学童保育にお子さんを託されてきた方でした。至る所に学童保育に関わった人々がいるということをおためて実感しました。これからも真摯に学童保育事業を継続発展していきたいと思えます。

今回の式典を新たなスタートとして、新規に十三人の方



が会員として加わってくださいました。ありがとうございます。

ございました。多くの方々に会員としてNPO法人所沢市学童クラブの会を継続して応援いただけます事、感謝に堪えません。



## 安松いろえんぴつクラブ

四月一日に開所



安松小学校の正門から徒歩一分のところに、「安松いろえんぴつクラブ」が開所します。

二階建ての民家を改

装した定員四十名の学童です。名前の由来は、安松小学校区にすでにある「安松児童クラブ」の愛称が「えんぴつクラブ」のため、「安松いろえんぴつクラブ」と命名しました。

どうぞよろしく  
お願い致します。





# 今日のおやつはなあに？

## 季節とわくわく感を届ける手作りおやつ

### 伸栄学童クラブ

伸栄学童のおやつを紹介します。

子ども達と一緒に作ったおやつ作りですが、今年度は二回行いました。

県民の日は毎年埼玉にちなんだおやつを出しています。埼玉の名産は色々ありますが、ひとつは「うどん」所沢でも名産として有名です。また、

サツマイモも名産のひとつ、今回は「大学芋」と「うどん」をみんなで作りました。

二月の一日保育を利用して作ったのは、「うどん」と「かりん糖」です。うどんのこねは大人が行いましたが、その後は子ども達が自分で踏み込み、製麺機を使って延ばしと麺切りをして、うどんを仕上げました。麺切りは子どもの好みに合わせて、太麺と細麺を作りました。おやつに食べたのは太麺でした。うどんは、のど越しが大切。茹でたてを出したかったので、全員分をそろえるには時間もかかり、麵職人としては残念で

した。子ども達はお代わりもして、おいしく食べてくれました。また、一緒に作った「かりん糖」は、大人の想像を超える編み込み作業を行う子もいて、芸術作品に仕上がっていました。

## みんな上手に焼けるよ

### 緑町三丁目学童保育所

よつばクラブのおやつはなるべく手作りや、季節感、伝統行事に関わるものをと心がけています。が、今年度は選択の幅がでるようにメニューを考えてきました。

時間がある時には食べ物がどう作られているのか知ってほしいこともあるので、スポンジケーキなどを作ります。基本は卵を泡立てて砂糖と小麦粉で出来ていることを知るとみんなびっくります。

おやつといえばみんなが大好きなホットケーキ。自分の分は自分で焼くことが多いので、よつばクラブは全員上手にホットケーキを焼くことができます！そしてみんなが楽



しみにしているのは近くのコンビニでの「買い物おやつ」。おつりがなく、持って行った金額と同じになると店員さんが「すごい！ぴったりだね」と言ってくれるのでちょうど金額になるように全力で計算をしています。

「ぜんぜん進んでないね」と言われている「全国おやつめぐり」も二年前から継続中！おやつを通していろいろな楽しい体験ができると思います。



# 職員部長



黄前 優子 指導員

## 並木学童クラブ

職員部会とは、所沢市学童クラブの会の組織の中で、保育のことを考え、実行していくところです。支援員の保育力量の向上、専門性の向上のため、保育の交流や事例検討、研修の企画運営、危機管理の情報共有等を行っています。

指導員をめざしたきっかけは、学生の時、都内の児童館や学童でアルバイトやボランティアをして、とても楽しかったからです。

時代は変化しますが、その中でも学童保育は、いろいろな経験やいろいろな人との関わりの中で、子ども同士育ちあう場であってほしいです。その育ちあいを、保護者とと

クラブや職員同士がつながることで、孤立しないように、独りよがりにならないように、学び合い、助け合い、支え合うことを大切にしています。

職員部長としては、職員一人一人が安心して自分の意見や思いを出せる、一人一人の力が発揮できる職員部会にしていきたいです。

もに温かく見守っていただけら素敵だなと思います。子どもにとっても大人にとっても「学童があってよかった」と思える場になれたらと思います。



次はこの人



学童クラブの会のHPはこちらからご覧下さい。



### 編集後記

今号は一つの区切りとなるNPO設立二十五周年記念式典の様子をお届けしました。

私がまだ小学生の頃、市民フェスティバルでダンボール迷路を体験して、すごく楽しかった記憶があります。当時はNPOになる前ですが、根っこにある「子どもたちのために」という思いを大切にされている諸先輩方が熱心に活動をされていました。そして、そういった活動を続けてこられたからこそ今の今があるのだろーっと思えます。

時が経ち、職員として一緒に働くことが出来て本当に感謝しております。改めて二十五周年おめでとうございませう。

おやつを通して得る食の学び、仲間と共に作り、食べる喜びを共有できる事も学童の良いところです。新たに安松いろえんぴつクラブも開設されます。学童を通して結ばれた様々な縁を、これからも繋いでいきたいと思っています。